

検定試験と国家資格の概要

検定・国家資格名	概 要
危険物取扱者	危険物とは、ガソリンなどの石油類、金属粉など「燃焼性の高い物品」のこと。これらを大量に「製造・貯蔵・取扱」する場所で管理責任者の役割を担うのが危険物取扱者です。ガソリンスタンドなど多業種の職場で活躍しています。
技能士	種類ごとに一定基準の技術・技能をもっているかを実技・筆記試験等によって検定する国家資格。
	〔機械検査〕 精密測定器具を使い、精密な部品の寸法測定や器具の取り扱い等の作業が、正確にできるかを試験する。
	〔機械加工〕 切削工具や工作機械を用いて素材(機械の部品など)を正確な寸法で加工したり、正しい作業方法でできているかを試験する。
	〔電子機器組立〕 シャーシ、専用プリント基板、電子部品を用いて電気機器の組立てを行う。また、電子技術全般に関する知識について試験する。
ボイラー技士	ボイラーは蒸気を作る機械。ビルやマンション、病院や学校など、冷暖房などに利用されています。ボイラー技士の仕事はボイラーを安全に運転することです。ボイラーは資格がなければ、取り扱うことはできません。
電気工事士	住宅や店舗など600V以下で受電する設備の新築・増改築時に、配線図通りに屋内配線を行い、コンセントの設置やアース施工などを行うのが、電気工事士の仕事です。これら電気工事の作業は法律で基準が定められており、有資格者でないと行うことができません。
計算技術検定	複雑な数値計算を正確にまた短時間に行うことは、極めて大切なこと。電卓等の正しい使い方及び計算するための実技能力を向上させ、さらに、計算方法の合理化の能力を養成します。
情報技術検定	工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が習得されているかが検定される。
パソコン利用検定	パソコンの基本的な使用方法を理論的・実用的に系統立てて学習し、正しいパソコン利用技術（コンピュータ・リテラシー）を身につけているかが検定される。
工事担任者	工事担任者とは、電気通信回線設備に端末設備または自営電気通信設備の接続工事を行い、監督する責任者です。工事可能な範囲は、ブロードバンドインターネット等のデジタルデータ伝送サービスに関わる接続となります。